

第16年度 事業報告のまとめ

特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば

「地域へ活動を理解していただき、地域に求められ、活動を届けた一年」

移転にともない、長く活動を支えてくれたげんきスポットを離れ、新天地でのげんきスポットがスタートするなど、大きな変化があった一年でした。新しい地域に移ることにより、さらなる出会いや活動が今後生まれていくと思います。また、これまで以上に地域の学校との連携が進み、放課後の活動や職員研修への協力、学校運営協議会への参画など、これまで以上に多く子どもたちに活動を届けられる機会に恵まれました。一方で、活動を求められる機会が増えることに対し、組織の体制が不十分であり、その分、事務局体制も万全の運営ができないという課題も出てきました。これまでからスタッフが減っているということもありますが、活動の多様化や人の流動のなかで、ルール共有や活動の意義等の理解といったことが十分浸透できていないことでのトラブルも増えています。また全国的にも注目を集めることで、啓発事業としては取り組めていますが、その対応に追われ、中長期計画の立案等も停滞していることがあり、新年度、みなさんの声をあらためて伺い、計画づくりを進めたいと考えます。

○事業計画から達成できたこと

- ・子どもや家族、会員、スタッフ、活動に関わる方々の声をカタチにする仕組みづくり

前年度から引き続き、参加者、会員、ボランティア、スタッフ、役職員との意見交換や、それぞれの情報整理を行い、仕組みの基盤固めに取り組みました。情報の整理は進んでいますが、それぞれの立場での思いや、やりたいこと、問題意識等、声を聴く機会は少なく、不十分ではあります。今後の計画や中長期計画を作る上で、重要な取り組みであるため、あらためて進めていきたいと思えます。

- ・地域組織の連携により課題解決に取り組む

学校連携として直接事業に関わる部分では、小学校4校、中学校1校と、広がりを見せており、これまでの、大学や保育所との連携、福祉事務所や児童センターなどの各福祉行政機関とも連携が進み、活動を届けることや、新しい活動を生み出す基盤が整ってきています。一方で、地域に継続的に関わっていくには、積極的に地域へ活動参加できる体制が必要であります。現状では、そのニーズに体制が追いついていません。

- ・基盤強化に向けた資源創出など運営課題解決のためのアクションづくり

常任理事会や事務局を中心に取り組み、関係者情報の整理や、資金調達の仕組みなど、資源を獲得する方法はある程度構築されてきていますが、各事業運営含め、それらを活用し、前進させていくための、ルールの見直しや、活動をつくるスタッフ全体への研修、ルールの浸透などは不十分です。また、げんきスポットのメンバーを中心に組み込んだ移転が完了したことにより、老朽化などのリスクを回避できるなど、前進できたことも多いです。

- ・40周年を見据えた5カ年計画

移転や、資源獲得、連携事業の体制づくり等に追われたことにより、ヒアリングや意見を聞く機会が十分に持っていないこと、全国的に団体が注目を集めていることや、団体が社会から求められている役割という点で、腰を据えた計画づくりに着手できていません。35周年というタイミングを考えても、これまでの活動の振り返りとビジョン作成は、今後の団体運営に不可欠であるため、新年度では最重要テーマとして取り組む必要があります。そのなかで、今後の事業実施や事務局体制、運営のあり方を見直していきたいと思えます。

法人全体 <総会ならびに会議報告>

【第16年度通常総会】

日時・場所 2014年7月21日(月・祝) 13:00~16:00 山科青少年活動センター スポーツルーム

審議事項 第1号議案 議事録署名人選出の件

第2号議案 第15年度事業経過報告承認の件

第3号議案 第15年度事業活動決算承認の件

第4号議案 第16年度事業計画承認の件

第5号議案 第16年度事業活動予算承認の件

【理事会】

理事11人、監事2人で構成。

会場 山科醍醐こどものひろば内、「こども生活支援センター」

開催日 2014年 12月14日(日)

2015年 1月31日(土) 3月28日(土) 5月24日(日)

【常任理事会】

理事長、副理事長、常任理事、事務局長で構成。会のミッションに基づき、大きな方針を話し合う場として、毎回の審議を進めた。

会場 山科醍醐こどものひろば内、「こども生活支援センター」にて開催。

開催日 2014年9月11日(木)

【事務局会議】

法人事務に関して概ね月1回程実施し、業務遂行にあたった。

第16年度 各事業報告

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
舞台芸術 鑑賞活動	山科醍醐こどもの創作劇「ピヨ〜 ンド!〜エルカと仲間たち〜こども の文化フォーラムバージョン公演 ※決算などは子どもが自ら創る体 験事業の山科醍醐こどもの創作 劇の項目参照	6月29日	京都市東部 文化会館	7人	地域の子どもと 大人 500人	—	—
子どもが自 ら創る体験 活動事業	Jr. キャンプ 小学生3年〜中学3年対象の2泊3 日のキャンプや年間を通じての野 外体験活動を実施した。	通年	地域一円	14人	地域の子ども 40人	518	419
	山科パルフェスタ 山科商店会主催のパルフェスタに おいて、子どもの遊びコーナーを 行なった。	2015年5月31日	山科商店会	50人	地域の子どもと 大人 700人	—	52
	わんぱくクラブ 幼児・低学年の子ども達が、舞台 鑑賞や野外活動を実施した。	通年	地域一円	65人	地域の子ども 30人	960	663
	自由帳 小学生〜中学生を対象とした創作 活動を夏に実施した。	通年	地域一円	9人	地域の子ども 17人	249	214
	山科醍醐こどもの創作劇 小学生から大人までの参加者が 創る創作劇の実施や、ワーク ショップを行った。 ※山科区きずな支援事業 ※京都新聞社会福祉事業団	通年	京都市東部 文化会館・ 勧修寺公会堂他	10人	地域の子どもと 大人 30人	1,272 (助成金730)	1,180
	演劇サークル ぼっぶ・こーん 小学生から大人までの参加者が 創る演劇サークル ※文化力チャレンジ事業	通年	京都府立文化芸 術会館他	10人	地域の子どもと 大人 30人	—	303 (助成金200)
	町たんけん 地域を知り、その中の出会いから 人と人がつながり、より良い地域 になることを目指す。山科かるた や、ガイドブックを普及させ、有効 活用できるように活動していく。 ※子どもゆめ基金助成事業	通年 小学生との町たん けん活動は秋〜春	地域一円	11人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	小学生16名 山科かるた双 六、ガイドブック (新1年に配布) 等で、山科区の 小学生・住民が 楽しんだと思わ れる。	675 (助成金300)	724
子育てサ ポート事業	あそびっこクラブ 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポート活動。地域の保育所 やお寺を会場にして活動を実施。 同窓会として親子で集う場を設け た。 フェスタに参加し親子でスタッフに なれる場を設けた。	第2・4月曜日	地域一円	2人	家族12組	130	98
	げんきスポット0-3(ゼロさん) 未就園児を持つ母と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット」にて実施。屋根のある公 園を目指す。 ※京都市の委託事業	毎週火〜土曜日	げんきスポット	35人 (スタッフ・ ボランティア・ 講師)	地域の子どもと 大人 のべ7000人	委託事業 4,902 (委託金4,386)	4784 (委託金4,386)
	ウォークラリー 疎水でハイキング	2015年4月4日	山科疎水	2人	12人	—	5
	ひろば文庫 子ども達が、本に親しむ機会をつく る一助のため絵本の読み聞かせ や本の貸し出しを行った。	毎週火〜土曜日・ 第2日曜	げんきスポット ひろば文庫	11人	地域の子どもと 大人 のべ180人	—	—

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
子育てサ ポート事業	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	30人	地域の子ども: のべ560人	504	—
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業	通年	地域一円	30人	地域の子ども: のべ560人	5,000 (助成金4,000)	1,378
	山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業(生活充実通年型) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府補助金事業	通年	地域一円	30人	子ども: のべ432人 保護者: のべ15人	補助金事業 6,728 (補助金4,876)	補助金事業 6,728 (補助金4,876)
	山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の余暇支援・居場所サポート事業 (休日等通年型) 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府補助金事業	通年	地域一円	30人	のべ128人	補助金事業 1,428 (補助金1,299)	補助金事業 1,421 (補助金1,294)
	外部保育受入事業 外部団体からの保育依頼を受け 入れる体制を整備する。	通年	京都一円	5人	—	—	—
	ほっとタイムえんぴつ 小学校放課後事業。 子どもたちの放課後の居場所作 り。	通年	小栗栖小学校・ 醍醐事務所	5人	3人	—	—
ボランティ アサポート 事業	ボランティア学びの会「もぐもぐ」 ボランティア活動に参加する際 の、子どもとのかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的実施する予定であった が、研修計画のみ実施した。	通年	当法人事務所	5人	—	33	—
	講師派遣・インターンシップ受入事 業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行った。	通年	地域一円	6人	—	—	—
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	5人	のべ50人	—	—
広報・出版 事業	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。 ※山科区社会福祉協議会助成事 業	季刊	—	10人	1,000部を4回	40 (助成金30)	33 (助成金30)
	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	10人	150部を12回	—	—
	ホームページ 当法人におけるホームページの定 期的な更新情報の発信及び、基 本情報の公開を行う。	通年	—	10人	—	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進めた。	通年	—	—	—	—	233
	子どもの貧困対策アクションサ ポートBOOK作成事業 これまでの子どもの貧困対策事業 のノウハウをまとめ、出版するた めの調査等を実施。	通年	地域一円	2人	1,000部	500	455

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	当初の予算額 (千円)	決算額 (千円)
ネットワーク づくり事業	第10回子どもの文化フォーラム 地域の子どもの文化の向上を 願い、山科に拠点を置く5団体が 「あしたにむかってジャンプ！」と 題し、共催事業として実施した。	2014年6月29日	京都市東部 文化会館	40人	地域の子どもと 大人 500人	—	21
	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行った。	通年	—	5人	登録10団体	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として山 科で子育てサークルや子育て支 援をしている諸団体との交流を行 う。子育て支援サロンを開催。 ※山科きずな補助金助成事業	6月 7月 10月 12月 2月	社会福祉協議会 他	11人	—	—	—
	ネットワーク 子ども関連のネットワークづくりを 行う。	通年	—	—	—	30	25
	だいが中3勉強会 生活保護受給者中学生学習支援 プログラム。	通年	醍醐事務所	15人	7人	180	180
	サロン事業 チャリティサロン 運動やものづくりなどのカルチャー 講座を開催。 みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催:社会福祉協議会)	チャリティサロン: 通年 みんなの家: 月曜日	こども生活支援セ ンター	チャリティ サロン: 3人 みんなの家: 2人	—	—	—
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	—	4人	—	—	—
	らんらんおでかけひろば 会員間の交流を図ることを目的と して実施。 ランチしながらの情報交換やひろ ばについての意見交換などで交 流した。	2014年9月29日	—	3人	9人	50	21
	学校・地域連携で取り組む子ども の貧困対策 子どもの貧困対策人材育成研究 会と共に、子どもの貧困対策を目 的とした実践者用サポートブックを 作成した。 ※京都南ライオンズクラブ結成50 周年記念子ども・青少年育成基金 助成事業	—	—	—	—	—	520 (助成金:520)
	ロータリークラブとの合同イベント 創作劇、かるた大会 他。	2014年11月24日	京都市東部 文化会館	20人	400人	—	190
新法人立ち上げ事業	通年	—	—	—	—	—	